

---

## 平成20年度第2四半期（上半期）報告

---

第一フロンティア生命保険株式会社（社長：高野 茂徳）の平成20年度第2四半期（上半期）の業績は添付のとおりです。

※当社は、平成19年10月より販売を開始しております。

※資料中、「第2四半期（上半期）」は「4月1日～9月30日」を、「第2四半期会計期間」は「7月1日～9月30日」を表しております。

<目次>

1. 主要業績	……	1 頁
2. 平成20年度第2四半期（上半期）の一般勘定資産の運用状況	……	3 頁
3. 資産運用の実績（一般勘定）	……	4 頁
4. 中間貸借対照表	……	9 頁
5. 中間損益計算書	……	10 頁
6. 中間株主資本等変動計算書	……	11 頁
7. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	14 頁
8. 債務者区分による債権の状況	……	15 頁
9. リスク管理債権の状況	……	15 頁
10. ソルベンシー・マージン比率	……	15 頁
11. 特別勘定の状況	……	16 頁
12. 保険会社及びその子会社等の状況	……	16 頁
（参考）第2四半期会計期間の業績	……	17 頁

以上

---

お問い合わせは、次にお願いたします。

第一フロンティア生命保険株式会社 企画総務部 TEL 03-6863-6232・6235 (若山・前田)
---

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高及び新契約高

### ・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区分	平成19年度 第2四半期 (上半期)末		平成20年度 第2四半期(上半期)末						平成19年度末	
	件数	金額	件数	前年 同期比		金額	前年 同期比		件数	金額
				前年度 末比	前年度 末比		前年度 末比			
個人保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
個人年金保険	-	-	48	-	384.9	3,133	-	351.2	12	892
団体保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

### ・新契約高

(単位：千件、億円)

区分	平成19年度 第2四半期(上半期)				平成20年度 第2四半期(上半期)				平成19年度			
	件数	金額	新契約	転換による 純増加	件数	金額	新契約	転換による 純増加	件数	金額	新契約	転換による 純増加
個人年金保険	-	-	-	-	35	2,257	2,257	-	12	894	894	-
団体保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

## (2) 年換算保険料

### ・保有契約

(単位：百万円、%)

区分	平成19年度 第2四半期 (上半期) 末	平成20年度 第2四半期 (上半期) 末			平成19年度末
			前年 同期比	前年度 末比	
個人保険	-	-	-	-	-
個人年金保険	-	30,717	-	353.1	8,699
合計	-	30,717	-	353.1	8,699
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	-	-	-	-

### ・新契約

(単位：百万円、%)

区分	平成19年度 第2四半期 (上半期)	平成20年度 第2四半期 (上半期)			平成19年度
			前年 同期比		
個人保険	-	-	-	-	-
個人年金保険	-	22,181	-	-	8,721
合計	-	22,181	-	-	8,721
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	-	-	-	-

(注) 「年換算保険料」とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

## (3) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

区分	平成19年度 第2四半期 (上半期)	平成20年度 第2四半期 (上半期)			平成19年度
			前年 同期比		
保険料等収入	-	226,374	-	-	89,113
資産運用収益	42	678		1,606.9	264
保険金等支払金	-	1,748	-	-	210
資産運用費用	0	14,872		32,794,759.0	1,892

## (4) 総資産

(単位：百万円、%)

区分	平成19年度 第2四半期 (上半期) 末	平成20年度 第2四半期 (上半期) 末			平成19年度末
			前年 同期比	前年度 末比	
総資産	45,148	381,160	844.2	295.8	128,849

## 2. 平成20年度第2四半期（上半期）の一般勘定資産の運用状況

### （1）運用環境

平成20年度第2四半期（上半期）の日本経済は、停滞色の強い状態となりました。海外経済の減速により輸出の伸びが鈍化したほか、企業収益の悪化を背景に設備投資も減少しました。雇用者所得の伸び悩みやエネルギー・食料品価格の上昇から個人消費も弱めの動きとなりました。また、住宅投資が横ばい圏で推移し、公共投資も低調となりました。

国内株式市場では、海外の金融市場が一旦の落ち着きを示したことで、日経平均株価は5月から6月にかけて14,000円台に上昇しました。その後は米大手金融機関の経営破たんを受けた世界的な金融市場の混乱や内外経済の減速を背景にした企業業績不安から下落基調となり、9月には11,000円台に下落しました。

（日経平均株価 19年度末 12,525円 → 20年度上半期末 11,259円）

国内債券市場では、エネルギー・食料品価格の上昇を受け、インフレに対する警戒感から10年国債利回りは6月に1.8%台に上昇する場面もありました。その後は世界的な金融市場の混乱や内外経済の減速を受けて、国内長期金利は低下基調となり、10年国債利回りは1.4%台に低下しました。

（10年国債利回り 19年度末 1.275% → 20年度上半期末 1.480%）

ドル円相場は、ドルの買戻しの動きから、8月に110円台にまで円安ドル高が進行しました。その後もドル、円ともに他の通貨に対して買われ、概ね108円から104円のレンジ内での推移となりました。

（ドル円相場 19年度末 100.19円 → 20年度上半期末 103.57円）

### （2）運用方針

一般勘定では主に会社の資本金を運用しており、中長期的に安定した運用収益を確保するために、円建公社債やコールローン等の短期金融商品を中心とした運用を行います。

また、変額個人年金保険の最低保証リスクの軽減を目的とした取引を行います。

### （3）運用実績の概況

円建公社債やコールローン等の短期金融商品といった安定的な運用収益が期待できる資産を中心とした運用を行いました。

また、変額個人年金保険の最低保証リスクの軽減を目的として、金銭の信託を設定しました。

その結果、資産運用収益は678百万円、資産運用費用は3百万円となりました。

なお、事業拡大に伴って今後必要となる資本の確保を目的として、当上半期に500億円の増資を実施したことにより、平成20年度第2四半期（上半期）末の一般勘定資産残高は、1,020億円となりました。

### 3. 資産運用の実績（一般勘定）

#### （1）資産の構成（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区分	平成19年度 第2四半期（上半期）末		平成20年度 第2四半期（上半期）末		平成19年度末	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	11,157	24.7	64,605	63.3	29,160	54.0
買現先勘定	-	-	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-	-	-
金銭の信託	-	-	3,486	3.4	-	-
有価証券	33,412	74.0	32,974	32.3	24,250	44.9
公社債	33,412	74.0	32,974	32.3	24,250	44.9
株	-	-	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-
貸付金	-	-	-	-	-	-
不動産	-	-	-	-	-	-
繰延税金資産	-	-	-	-	-	-
その他	579	1.3	950	0.9	592	1.1
貸倒引当金	△0	△0.0	△0	△0.0	△0	△0.0
合計	45,148	100.0	102,016	100.0	54,003	100.0
うち外貨建資産	-	-	-	-	-	-

#### （2）資産の増減（一般勘定）

（単位：百万円）

区分	平成19年度 第2四半期（上半期）	平成20年度 第2四半期（上半期）	平成19年度
現預金・コールローン	11,157	35,444	29,160
買現先勘定	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-
商品有価証券	-	-	-
金銭の信託	-	3,486	-
有価証券	33,412	8,724	24,250
公社債	33,412	8,724	24,250
株	-	-	-
外国証券	-	-	-
公社債	-	-	-
株式等	-	-	-
その他の証券	-	-	-
貸付金	-	-	-
不動産	-	-	-
繰延税金資産	-	-	-
その他	579	357	592
貸倒引当金	△0	△0	△0
合計	45,148	48,013	54,003
うち外貨建資産	-	-	-

(3) 資産運用収益 (一般勘定)

(単位：百万円)

区分	平成19年度 第2四半期 (上半期)	平成20年度 第2四半期 (上半期)	平成19年度
利息及び配当金等収入	42	172	218
預貯金利息	2	3	6
有価証券利息・配当金	16	127	150
貸付金利息	-	-	-
不動産賃貸料	-	-	-
その他利息配当金	23	41	61
商品有価証券運用益	-	-	-
金銭の信託運用益	-	486	-
売買目的有価証券運用益	-	-	-
有価証券売却益	-	19	46
国債等債券売却益	-	19	46
株式等売却益	-	-	-
外国証券売却益	-	-	-
その他	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	-	-	-
その他運用収益	-	-	-
合計	42	678	264

(4) 資産運用費用 (一般勘定)

(単位：百万円)

区分	平成19年度 第2四半期 (上半期)	平成20年度 第2四半期 (上半期)	平成19年度
支払利息	-	-	-
商品有価証券運用損	-	-	-
金銭の信託運用損	-	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-	-
有価証券売却損	-	1	0
国債等債券売却損	-	1	0
株式等売却損	-	-	-
外国証券売却損	-	-	-
その他	-	-	-
有価証券評価損	-	-	-
国債等債券評価損	-	-	-
株式等評価損	-	-	-
外国証券評価損	-	-	-
その他	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-
為替差損	-	-	-
貸倒引当金繰入額	0	0	-
貸付金償却	-	-	-
賃貸用不動産等減価償却費	-	-	-
その他運用費用	0	1	-
合計	0	3	0

## (5) 売買目的有価証券の評価損益 (一般勘定)

(単位:百万円)

区分	平成19年度 第2四半期(上半期)末		平成20年度 第2四半期(上半期)末		平成19年度末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に含 まれた評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に含 まれた評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に含 まれた評価損益
売買目的有価証券	-	-	3,486	486	-	-
金銭の信託	-	-	3,486	486	-	-

## (6) 有価証券の時価情報 (一般勘定)

(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区分	平成19年度第2四半期(上半期)末					平成20年度第2四半期(上半期)末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
			うち差益	うち差損				うち差益	うち差損	
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	33,441	33,412	△29	3	32	32,827	32,974	147	184	37
公 社 債	33,441	33,412	△29	3	32	32,827	32,974	147	184	37
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	33,441	33,412	△29	3	32	32,827	32,974	147	184	37
公 社 債	33,441	33,412	△29	3	32	32,827	32,974	147	184	37
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	平成19年度末				
	帳簿価額	時価	差損益		
			うち差益	うち差損	
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-
その他の有価証券	23,998	24,250	251	256	5
公 社 債	23,998	24,250	251	256	5
株 式	-	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
合 計	23,998	24,250	251	256	5
公 社 債	23,998	24,250	251	256	5
株 式	-	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-

・なお、時価のない有価証券は保有しておりません。

(7) 金銭の信託の時価情報 (一般勘定)

(単位：百万円)

区分	平成19年度第2四半期 (上半期) 末					平成20年度第2四半期 (上半期) 末				
	貸借対照表計上額	時価	差損益		貸借対照表計上額	時価	差損益			
			うち差益	うち差損			うち差益	うち差損		
金 銭 の 信 託	-	-	-	-	-	3,486	3,486	-	-	-

区分	平成19年度末				
	貸借対照表計上額	時価	差損益		
			うち差益	うち差損	
金 銭 の 信 託	-	-	-	-	-

・運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区分	平成19年度第2四半期 (上半期) 末		平成20年度第2四半期 (上半期) 末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	-	-	3,486	486

区分	平成19年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	-	-

・満期保有目的・責任準備金対応・その他の金銭の信託

該当事項はありません。

#### 4. 中間貸借対照表

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	平成19年度中間会計期間末 (平成19年9月30日現在)		平成20年度中間会計期間末 (平成20年9月30日現在)		平成19年度末要約貸借対照表 (平成20年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)						
現金及び預貯金	4,157	9.2	15,473	4.1	11,213	8.7
コールローン	7,000	15.5	55,940	14.7	20,560	16.0
金銭の信託	-	-	3,486	0.9	-	-
有価証券	33,412	74.0	305,309	80.1	96,482	74.9
(うち国債)	( 33,412 )	( 74.0 )	( 22,991 )	( 6.0 )	( 24,250 )	( 18.8 )
(うち地方債)	( - )	( - )	( 200 )	( 0.1 )	( - )	( - )
(うち社債)	( - )	( - )	( 9,782 )	( 2.6 )	( - )	( - )
有形固定資産	224	0.5	148	0.0	180	0.1
無形固定資産	-	-	2	0.0	2	0.0
再保険貸	-	-	320	0.1	-	-
その他資産	355	0.8	478	0.1	409	0.3
貸倒引当金	△0	△0.0	△0	△0.0	△0	△0.0
資産の部合計	45,148	100.0	381,160	100.0	128,849	100.0
(負債の部)						
保険契約準備金	-	-	307,202	80.6	88,736	68.9
支払備金	-	-	175	0.0	15	0.0
責任準備金	-	-	307,027	80.6	88,721	68.9
その他負債	555	1.2	11,462	3.0	4,142	3.2
未払法人税等	1	0.0	1	0.0	3	0.0
その他の負債	554	1.2	11,460	3.0	4,139	3.2
退職給付引当金	6	0.0	17	0.0	11	0.0
役員退職慰労引当金	0	0.0	1	0.0	0	0.0
価格変動準備金	4	0.0	9	0.0	5	0.0
繰延税金負債	-	-	53	0.0	90	0.1
負債の部合計	567	1.3	318,747	83.6	92,987	72.2
(純資産の部)						
資本金	50,000	110.7	75,000	19.7	50,000	38.8
資本剰余金	-	-	25,000	6.6	-	-
資本準備金	-	-	25,000	6.6	-	-
利益剰余金	△ 5,389	△ 11.9	△ 37,680	△ 9.9	△ 14,298	△ 11.1
その他利益剰余金	△ 5,389	△ 11.9	△ 37,680	△ 9.9	△ 14,298	△ 11.1
繰越利益剰余金	△ 5,389	△ 11.9	△ 37,680	△ 9.9	△ 14,298	△ 11.1
株主資本合計	44,610	98.8	62,319	16.3	35,701	27.7
その他有価証券評価差額金	△ 29	△ 0.1	93	0.0	160	0.1
評価・換算差額等合計	△ 29	△ 0.1	93	0.0	160	0.1
純資産の部合計	44,581	98.7	62,413	16.4	35,861	27.8
負債及び純資産の部合計	45,148	100.0	381,160	100.0	128,849	100.0

## 5. 中間損益計算書

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	平成19年度中間会計期間 〔平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで〕		平成20年度中間会計期間 〔平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで〕		平成19年度要約損益計算書 〔平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
経常収益	56	100.0	227,138	100.0	89,484	100.0
保険料等収入	-	-	226,374	99.7	89,113	99.6
（うち保険料）	( - )	-	( 225,220 )	99.2	( 89,113 )	99.6
資産運用収益	42	74.3	678	0.3	264	0.3
（うち利息及び配当金等収入）	( 42 )	74.3	( 172 )	0.1	( 218 )	0.2
（うち金銭の信託運用益）	( - )	-	( 486 )	0.2	( - )	-
（うち有価証券売却益）	( - )	-	( 19 )	0.0	( 46 )	0.1
その他経常収益	14	25.7	85	0.0	105	0.1
経常費用	2,371	4,172.3	250,515	110.3	100,705	112.5
保険金等支払金	-	-	1,748	0.8	210	0.2
（うち年金）	( - )	-	( 16 )	0.0	( 2 )	0.0
（うち給付金）	( - )	-	( 346 )	0.2	( 40 )	0.0
（うち解約返戻金）	( - )	-	( 528 )	0.2	( 65 )	0.1
（うちその他返戻金）	( - )	-	( 562 )	0.2	( 103 )	0.1
責任準備金等繰入額	-	-	218,466	96.2	88,736	99.2
支払備金繰入額	-	-	160	0.1	15	0.0
責任準備金繰入額	-	-	218,306	96.1	88,721	99.1
資産運用費用	0	0.1	14,872	6.5	1,892	2.1
（うち有価証券売却損）	( - )	-	( 1 )	0.0	( 0 )	0.0
（うち特別勘定資産運用損）	( - )	-	( 14,869 )	6.5	( 1,891 )	2.1
事業費	1,992	3,505.8	13,666	6.0	8,731	9.8
その他経常費用	378	666.4	1,760	0.8	1,134	1.3
経常損失	2,314	△4,072.3	23,376	△10.3	11,220	△12.5
特別利益	-	-	-	-	0	0.0
特別損失	4	7.0	4	0.0	5	0.0
税引前中間純損失	2,318	△4,079.3	23,380	△10.3	* 1 11,225	△12.5
法人税及び住民税	1	3.3	1	0.0	3	0.0
中間純損失	2,320	△4,082.7	23,382	△10.3	* 2 11,229	△12.5

(注) \* 1 平成19年度決算の税引前当期純損失

\* 2 平成19年度決算の当期純損失

## 6. 中間株主資本等変動計算書

平成19年度中間会計期間(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		その他有価証券 評価差額金	
直前事業年度末残高	5,000	-	△ 3,068	1,931	-	1,931
中間会計期間中の変動額	-	-	-	-	-	-
新株の発行	45,000	-	-	45,000	-	45,000
中間純損失	-	-	2,320	2,320	-	2,320
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額)	-	-	-	-	△ 29	△ 29
中間会計期間中の変動額合計	45,000	-	△ 2,320	42,679	△ 29	42,650
中間会計期間末残高	50,000	-	△ 5,389	44,610	△ 29	44,581

平成20年度中間会計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		その他有価証券 評価差額金	
直前事業年度末残高	50,000	-	△ 14,298	35,701	160	35,861
中間会計期間中の変動額	-	-	-	-	-	-
新株の発行	25,000	25,000	-	50,000	-	50,000
中間純損失	-	-	23,382	23,382	-	23,382
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額)	-	-	-	-	△ 66	△ 66
中間会計期間中の変動額合計	25,000	25,000	△ 23,382	26,617	△ 66	26,551
中間会計期間末残高	75,000	25,000	△ 37,680	62,319	93	62,413

平成19年度(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		その他有価証券 評価差額金	
前事業年度末残高	5,000	-	△ 3,068	1,931	-	1,931
当事業年度変動額	-	-	-	-	-	-
新株の発行	45,000	-	-	45,000	-	45,000
当期純損失	-	-	11,229	11,229	-	11,229
株主資本以外の項目の 当事業年度変動額 (純額)	-	-	-	-	160	160
当事業年度変動額合計	45,000	-	△ 11,229	33,770	160	33,930
当事業年度末残高	50,000	-	△ 14,298	35,701	160	35,861

## 注記事項

(中間貸借対照表関係)

平成20年度中間会計期末

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 有価証券の評価は、売買目的有価証券については時価法（売却原価の算定は移動平均法）、その他有価証券はすべて時価のあるものであり、9月末日の市場価格に基づく時価法（売却原価の算定は移動平均法）によっております。また、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。
- 金銭の信託の評価は時価法によっております。
- 有形固定資産の減価償却の方法は、次の方法によっております。
  - 平成19年3月31日以前に取得したもの 旧定率法によっております。
  - 平成19年4月1日以降に取得したもの 定率法によっております。なお、その他の有形固定資産のうち取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却を行っております。
- 無形固定資産の減価償却の方法は定額法によっております。
- 貸倒引当金は、資産の自己査定基準および償却・引当基準に則り、貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に乗じた額を計上しております。また、すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行っております。
- 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職給付会計に関する実務指針（中間報告）（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第13号）に定める簡便法（期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）により、当中間期末において発生していると認められる額を計上しております。
- 役員退職慰労引当金は、親会社である第一生命保険相互会社から出向する役員の退職慰労金の同社への支払に備えるため、同社の退職金規程に基づく当中間期末要支給額のうち当社負担額を計上しております。
- 価格変動準備金は、保険業法第115条の規定に基づき算出した金額を計上しております。
- リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- 消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産にかかる控除対象外消費税等のうち、税法に定める繰延消費税等については、前払費用に計上し5年間で均等償却し、繰延消費税等以外のものについては、当中間期末に費用処理しております。
- 責任準備金は、保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については、金融庁長官が定める方式（平成8年大蔵省告示第48号）により計算しております。
- 役員退職慰労引当金は、従来親会社である第一生命保険相互会社から出向する役員の退職慰労金の同社への支払に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく中間期末要支給額を計上していましたが、役員退職慰労金規程の廃止に伴い、同社の退職金規程に基づく当中間期末要支給額のうち当社負担額を計上する方法に変更いたしました。当該変更による経常損失および税引前中間純損失への影響は軽微であります。
- 「リース取引に関する会計基準」（平成19年3月30日 企業会計基準第13号）および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）に伴い、当中間期末より同会計基準および同指針を適用しております。当該変更による経常損失および税引前中間純損失への影響はありません。
- 有形固定資産の減価償却累計額は、130百万円であります。
- 保険業法第118条に規定する特別勘定の資産の額は279,432百万円であります。なお、負債も同額であります。
- 担保に供されている資産の額は、有価証券20百万円であります。
- 保険業法施行規則第73条第3項において準用する同規則第71条第1項に規定する再保険に付した部分に相当する支払備金（以下「出再支払備金」という。）の金額は6百万円であり、同規則第71条第1項に規定する再保険に付した部分に相当する責任準備金（以下「出再責任準備金」という。）の金額は1,497百万円であります。
- 保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当中間期末における当社の今後の負担見積額は133百万円であります。なお、当該負担金は拠出した中間期の事業費として処理しております。

## 注記事項

(中間損益計算書関係)

平成20年度中間会計期間

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 関係会社との取引による収益の総額は85百万円、費用の総額は704百万円であります。
- 有価証券売却益の内訳は、国債等債券19百万円であります。
- 有価証券売却損の内訳は、国債等債券1百万円であります。
- 保険料等収入には、修正共同保険式再保険に係わる出再保険事業費受入1,116百万円を含んでおります。
- 保険金等支払金には、修正共同保険式再保険に係わる出再保険責任準備金移転額22,854百万円および出再保険責任準備金調整額△22,677百万円を含んでおります。
- 支払備金繰入額の計算上、差し引かれた出再支払備金繰入額の金額は6百万円、責任準備金繰入額の計算上、差し引かれた出再責任準備金繰入額の金額は1,497百万円であります。
- 利息および配当金等収入の内訳は、以下の通りであります。

預貯金利息	3百万円
有価証券利息・配当金	127百万円
その他利息配当金	41百万円
計	172百万円
- 金銭の信託運用益は評価益486百万円であります。
- 1株あたり中間純損失の金額は42,365,947円15銭であります。

(中間株主資本等変動計算書関係)

平成20年度中間会計期間

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：株)

	前期末 株式数	当中間期 増加株式数	当中間期 減少株式数	当中間期末 株式数
発行済株式 普通株式	500	500	0	1,000

(注) 普通株式の発行済株式の増加 500 株は、第三者割当による新株の発行による増加であります。

## 7. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)	平成20年度 第2四半期(上半期)	平成19年度
基礎利益 A	-	△ 21,715	△ 10,387
キャピタル収益	-	505	46
金銭の信託運用益	-	(注) 486	-
売買目的有価証券運用益	-	-	-
有価証券売却益	-	19	46
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	-	-	-
その他キャピタル収益	-	-	-
キャピタル費用	-	1	0
金銭の信託運用損	-	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-	-
有価証券売却損	-	1	0
有価証券評価損	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-
為替差損	-	-	-
その他キャピタル費用	-	-	-
キャピタル損益 B	-	504	46
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	-	△ 21,211	△ 10,341
臨時収益	-	-	-
再保険収入	-	-	-
危険準備金戻入額	-	-	-
その他臨時収益	-	-	-
臨時費用	-	2,165	879
再保険料	-	-	-
危険準備金繰入額	-	2,165	879
個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
貸付金償却	-	-	-
その他臨時費用	-	-	-
臨時損益 C	-	△ 2,165	△ 879
経常利益 A+B+C	-	△ 23,376	△ 11,220

(注) 変額個人年金保険の最低保証リスクの軽減を目的とした金銭の信託を設定しており、金銭の信託運用益は当該取引に係るものであります。

## 8. 債務者区分による債権の状況

該当事項はありません。

## 9. リスク管理債権の状況

該当事項はありません。

## 10. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	平成19年度 第2四半期 (上半期) 末	平成20年度 第2四半期 (上半期) 末	平成19年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	-	80,874	41,036
資本金等	-	62,319	35,701
価格変動準備金	-	9	5
危険準備金	-	3,044	879
一般貸倒引当金	-	0	0
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	-	132	226
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	15,369	4,223
負債性資本調達手段等	-	-	-
控除項目	-	-	-
その他	-	-	-
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	-	11,554	3,978
保険リスク相当額 $R_1$	-	-	-
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	-	-	-
予定利率リスク相当額 $R_2$	-	0	0
資産運用リスク相当額 $R_3$	-	538	302
経営管理リスク相当額 $R_4$	-	336	115
最低保証リスク相当額 $R_7$	-	10,680	3,559
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	-	1,399.8%	2,063.0%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。  
2. 最低保証リスク相当額は、標準的方式を用いて算出しています。

## 1 1. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)末		平成20年度 第2四半期(上半期)末		平成19年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額保険	-	-	-	-	-	-
個人変額年金保険	-	-	279,432	-	76,292	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-
特別勘定計	-	-	279,432	-	76,292	-

### (2) 個人変額保険及び個人変額年金保険の保有契約高

#### ・個人変額保険

該当事項はありません。

#### ・個人変額年金保険

(単位：千件、百万円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)末		平成20年度 第2四半期(上半期)末		平成19年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	-	-	48	313,324	12	89,217

(注) 1. 個人変額年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

2. 決算日時点において特別勘定に投入前となっている契約については、保有契約高に含まれています。

## 1 2. 保険会社及びその子会社等の状況

該当事項はありません。

## <参考>第2四半期会計期間の業績

・新契約高 (単位：千件、億円)

区分	平成20年度 第2四半期会計期間			
	件数	金額		
		新契約	転換による 純増加	
個人保険	-	-	-	-
個人年金保険	22	1,407	1,407	-
団体保険	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-

(注) 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

・新契約年換算保険料 (単位：百万円)

区分	平成20年度 第2四半期会計期間
個人保険	-
個人保険保険	13,861
合計	13,861
うち医療保障・ 生前給付保障等	-

(注) 「年換算保険料」とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

・主要収支項目 (単位：百万円)

区分	平成20年度 第2四半期会計期間
保険料等収入	140,986
資産運用収益	598
保険金等支払金	1,161
資産運用費用	13,835

・資産の増減(一般勘定) (単位：百万円)

区分	平成20年度 第2四半期会計期間
現預金・コールローン	39,540
買現先勘定	-
債券貸借取引支払保証金	-
買入金銭債権	-
商品有価証券	-
金銭の信託	3,486
有価証券	5,750
公社債	8,953
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	△ 3,203
貸付金	-
不動産	-
繰延税金資産	-
その他	△ 1,624
貸倒引当金	0
合計	47,153
うち外貨建資産	-

・資産運用収益（一般勘定）（単位：百万円）

区分	平成20年度 第2四半期会計期間
利息及び配当金等収入	95
預貯金利息	2
有価証券利息・配当金	68
貸付金利息	-
不動産賃貸料	-
その他利息配当金	25
商品有価証券運用益	-
金銭の信託運用益	486
売買目的有価証券運用益	-
有価証券売却益	15
国債等債券売却益	15
株式等売却益	-
外国証券売却益	-
その他	-
有価証券償還益	-
金融派生商品収益	-
為替差益	-
その他運用収益	-
合 計	598

・資産運用費用（一般勘定）（単位：百万円）

区分	平成20年度 第2四半期会計期間
支払利息	-
商品有価証券運用損	-
金銭の信託運用損	-
売買目的有価証券運用損	-
有価証券売却損	1
国債等債券売却損	1
株式等売却損	-
外国証券売却損	-
その他	-
有価証券評価損	-
国債等債券評価損	-
株式等評価損	-
外国証券評価損	-
その他	-
有価証券償還損	-
金融派生商品費用	-
為替差損	-
貸倒引当金繰入額	△0
貸付金償却	-
賃貸用不動産等減価償却費	-
その他運用費用	1
合 計	1

・損益計算書

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	平成20年度第2四半期会計期間 〔平成20年7月1日から 平成20年9月30日まで〕	
	金 額	百分比
経常収益	141,630	100.0
保険料等収入	140,986	99.5
（うち保険料）	（ 140,463 ）	99.2
資産運用収益	598	0.4
（うち利息及び配当金等収入）	（ 95 ）	0.1
（うち金銭の信託運用益）	（ 486 ）	0.3
（うち有価証券売却益）	（ 15 ）	0.0
その他経常収益	45	0.0
経常費用	159,088	112.3
保険金等支払金	1,161	0.8
（うち年金）	（ 0 ）	0.0
（うち給付金）	（ 172 ）	0.1
（うち解約返戻金）	（ 370 ）	0.3
（うちその他返戻金）	（ 416 ）	0.3
責任準備金等繰入額	134,494	95.0
支払備金繰入額	131	0.1
責任準備金繰入額	134,363	94.9
資産運用費用	13,835	9.8
（うち有価証券売却損）	（ 1 ）	0.0
（うち特別勘定資産運用損）	（ 13,834 ）	9.8
事業費	8,453	6.0
その他経常費用	1,143	0.8
経常損失	17,458	△12.3
特別利益	-	-
特別損失	2	0.0
税引前四半期純損失	17,460	△12.3
法人税及び住民税	0	0.0
四半期純損失	17,460	△12.3

・経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

区 分	平成20年度 第2四半期会計期間
基礎利益 A	△ 16,628
キャピタル収益	502
金銭の信託運用益	(注) 486
売買目的有価証券運用益	-
有価証券売却益	15
金融派生商品収益	-
為替差益	-
その他キャピタル収益	-
キャピタル費用	1
金銭の信託運用損	-
売買目的有価証券運用損	-
有価証券売却損	1
有価証券評価損	-
金融派生商品費用	-
為替差損	-
その他キャピタル費用	-
キャピタル損益 B	501
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△ 16,126
臨時収益	-
再保険収入	-
危険準備金戻入額	-
その他臨時収益	-
臨時費用	1,331
再保険料	-
危険準備金繰入額	1,331
個別貸倒引当金繰入額	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-
貸付金償却	-
その他臨時費用	-
臨時損益 C	△ 1,331
経常利益 A + B + C	△ 17,458

(注) 変額個人年金保険の最低保証リスクの軽減を目的とした金銭の信託を設定しており、金銭の信託運用益は当該取引に係るものであります。

・保険会社及びその子会社等の状況

該当事項はありません。